

令和4年度 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議 事業計画

I 保存活用会議運営に係る総合調整【予算額 1,751 千円】

同会議を開催し、「資産等保存管理事業」や「来訪者対策事業」の取組方針、予算・等を審議・決定する。

また、大阪府及び地元3市の世界遺産、文化財、都市計画等の関係部署の職員からなる「資産専門部会」、「緩衝地帯専門部会」、「来訪者対策専門部会」の3つの専門部会を開催し、今後の百舌鳥・古市古墳群の保存管理の具体的な対応等について協議を行う。

II 資産等保存管理事業【予算額 20,488 千円】

(うち、8,470 千円は前年度からの繰越)

世界遺産一覧表記載推薦書の付属資料としてユネスコに提出した「包括的保存管理計画」や、第43回世界遺産委員会における登録決議文の「追加的勧告」で求められた内容をふまえ、百舌鳥・古市古墳群の保存管理を適切に行う。

1 墳丘調査事業

「追加的勧告」において墳丘の崩れが保全上の圧力と指摘されていることから、古墳の損壊程度や損壊リスクを把握するための調査を実施し、資産である古墳の保全を図る。

2 水質調査業務

「追加的勧告」において濠の水質が資産にネガティブな影響を与える要因として保全上の圧力になると指摘されていることから、管理に資する水質の調査を実施する。

3 国際専門家会合の開催（繰越となった事業）*

世界遺産委員会登録決議文の「追加的勧告」に、資産の整備にかかる指摘があることから、イコモスの委員等国内外の専門家の協力を得て、世界遺産としての真実性の観点を考慮した整備方針の策定に向けた検討を行う。

なお、実施にあたっては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、適切な時期を決定する。

*) 令和2年度の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により順延することとしたもの。

3 モニタリングの実施

資産や緩衝地帯等の保存管理状況、来訪者への対応等についてモニタリング（経過観察）等により評価を行う（墳丘の構造的安定性の評価、古墳や周辺環境の写真による定点観測、来訪者数の把握等）。

Ⅲ 来訪者対策・魅力発信事業【予算額 14,142 千円】

新型コロナウイルスの感染状況による影響等を踏まえながら、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を国内外に向けて発信する。

1 デジタルマーケティング事業（ターゲティング広告）の実施

令和3年度事業において制作した映像を活用してターゲティング広告を実施し、その価値と魅力を国内外に広く効果的に発信し、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」のさらなる認知度及び来訪意識向上を図る。

2 ホームページの運営

百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を多くの方々に知っていただくため、親しみやすく、わかりやすいホームページの運営に取り組む。

3 PR ツールの作成

百舌鳥・古市古墳群の世界遺産としての価値や魅力を伝える PR ツールの充実・作成を行う。

4 民間等連携事業・世界遺産学習会等の開催

民間企業等と連携・協力し、百舌鳥・古市古墳群の情報発信事業を実施する。また、府内市町村や学校と連携し、百舌鳥・古市古墳群や世界遺産に関する理解を深めていただくための学習会を開催する。